

## 株主メモ

証券コード 4951  
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
剰余金の配当 剰余金の配当は毎年3月31日現在の株主に、また中間配当を支払う場合は毎年9月30日現在の株主にそれぞれお支払いいたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

単元株式数 100株  
公告方法 日本経済新聞

決算公告ホームページのご案内  
当社の決算公告は、日本経済新聞による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ (<http://www.st-c.co.jp/ir/>) に掲載しておりますので、こちらをご覧ください。

## 当社IR情報について

当社ホームページでは、機関投資家や個人投資家の皆様に、当社の経営内容、将来展望、経営理念等をより深くご理解いただくためにIRのページを設けております。  
ご希望の方にはIRメールの配信サービスも行っております。

★当社のIRに関する情報はこちらをご覧ください。▶▶▶ 当社ホームページ「IR情報」<http://www.st-c.co.jp/ir/>

社 是

誠 実


### ■社名の由来■

会社の基本方針「社会に対する奉仕(SERVICE)と信頼(TRUST)を信条とし、製品については最高(SUPER TOP)を理念とする事」よりとったものであります。

 エステー化学株式会社

〒161-8540 東京都新宿区下落合1-4-10  
TEL. 03-5906-0731

 100 この報告書は、古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

 PRINTED WITH SOY INK この報告書は、環境に優しい植物性大豆油インキを使用しております。

# 第60期(中間) ひよこ Report

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで

 空気をかえよう  
エステー化学

連結

	第57期 (通期)	第58期 (通期)	第59期 (通期)	第60期 (当中間期)
売上高 (百万円)	45,081	44,109	46,134	22,399
経常利益 (百万円)	2,750	3,260	2,640	2,324
当期(中間)純利益 (百万円)	1,451	1,823	987	1,317
純資産 (百万円)	26,692	27,449	27,860	25,296
総資産 (百万円)	36,268	36,959	37,905	35,549
1株当たり当期(中間)純利益金額 (円)	48.87	63.43	34.35	47.68

単体

	第57期 (通期)	第58期 (通期)	第59期 (通期)	第60期 (当中間期)
売上高 (百万円)	43,250	42,396	44,331	21,398
経常利益 (百万円)	2,121	2,586	1,822	1,909
当期(中間)純利益 (百万円)	1,170	1,520	687	1,143
純資産 (百万円)	25,834	26,284	26,334	23,119
総資産 (百万円)	34,267	34,808	35,372	32,785
1株当たり当期(中間)純利益金額 (円)	39.31	52.91	23.91	41.39



代表執行役社長

鈴木 喬

日頃は大変お世話になり、ありがとうございます。  
株主の皆様にご報告申し上げます。

ました。これにより当社はこの9年間で約780万株を取得し、そのうち380万株強を消却しました。  
◎第五は、社外取締役を1名増員し、5名としました。(社内取締役は従来通り3名。) 経営の透明性・公正性の向上に一層努めます。  
◎第六は、米国市場で今春発売しました『ドライペット』と『脱臭炭』の売れ行きが順調なことです。

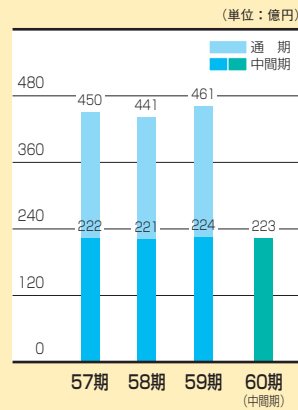
〈今後の方向〉

- ◎下期も引き続き、利益の大幅アップに最重点を置いて経営を進めてまいります。
- ◎当中間期の配当金は、前中間期同様11円とさせていただきます。なお、通期の配当金も前期同様22円を予定しております。株主還元につきましても、引き続き積極的に取り組んでまいります。
- ◎当期は、創業60周年にあたります。当社は戦後の焼野原の中で防虫剤メーカーとして、当時24歳の元海軍中尉の鈴木誠一が創業した会社です。その後、選択と集中を旗印に業容拡大に努め、日用雑貨のニッチ市場に特化したユニークな企業として成長してまいりました。今後とも「世にないことをやる会社」として、存在感のある企業を目指してまいります。

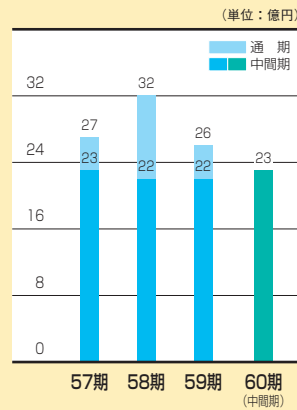
一層のご愛顧、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成18年12月

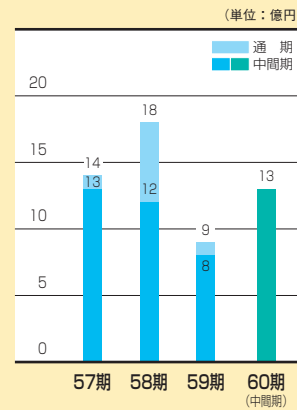
〈連結〉 売上高



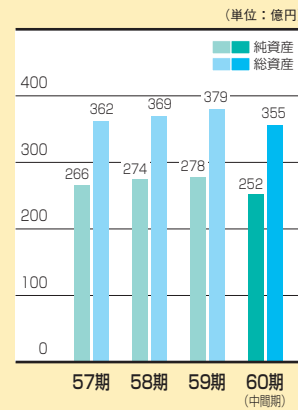
〈連結〉 経常利益



〈連結〉 当期純利益



〈連結〉 純資産・総資産



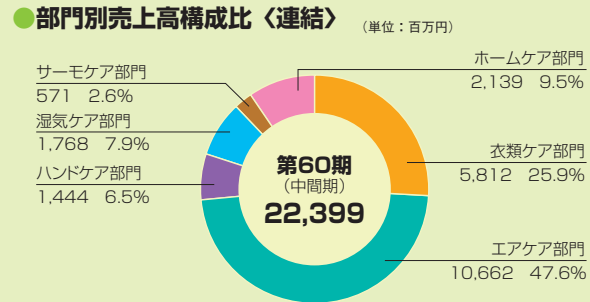
〈当社の近況〉

- ◎第一は、天候不順等の影響で、主力カテゴリのエアケアと防虫剤が減収となりました。
- ◎第二は、原料アップの影響によりコストアップの波が押し寄せてきています。
- ◎第三は、微減収でしたが増益を達成したことです。全社あげてのコスト見直し運動の成果です。
- ◎第四は、当中間期に発行済株式総数の8%強に当たる約250万株の自己株式を取得し、うち約64万株を消却し

営業の経過および成果

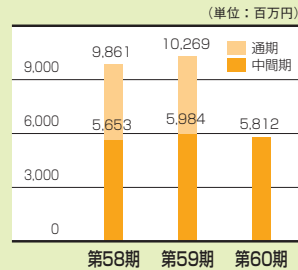
当中間期の連結営業成績につきましては、ハンドケア（手袋）部門、サーモケア（カイロ）部門、湿気ケア（除湿剤）部門が売上を伸ばしましたが、エアケア（消臭芳香剤）部門と衣類ケア（防虫剤）部門における一部の成熟商品の縮小影響を受け、トータルでは微減収となりました。利益面につきましては、資材価格上昇圧力を購買・製造部門のコスト削減活動により吸収したこと、および広告宣伝費を中心としたプロモーション投資の効率化ときめ細かな経費圧縮に努めた結果、増益となりました。これらの結果、売上高は223億99百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は24億95百万円（前年同期比4.0%増）、経常利益は23億24百万円（前年同期比5.0%増）となりました。中間純利益は、主に前年中間期における固

定資産の減損会計基準による特別損失6億99百万円が当中間期は発生しないこともあり、13億17百万円（前年同期比53.3%増）となりました。



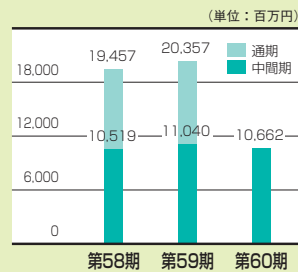
●衣類ケア（防虫剤）部門〈連結〉

衣類ケア（防虫剤）部門の売上高は、春シーズンでの需要が気温の影響等により前期の2月・3月に若干額前倒しとなったこともあり、58億12百万円（前年同期比2.9%減）と微減となりました。



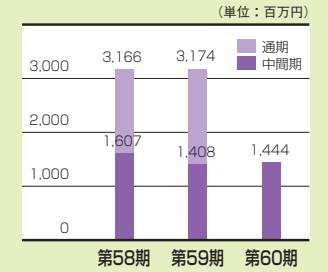
●エアケア（消臭芳香剤）部門〈連結〉

エアケア（消臭芳香剤）部門につきましては、コアブランドである『消臭力』および『エアウォッシュ』が引き続き順調に拡大し、売上増に貢献いたしました。一方、その他の成熟既存ブランドの一部の売上縮小もあり、エアケア全体の売上高は106億62百万円（前年同期比3.4%減）と減少いたしました。



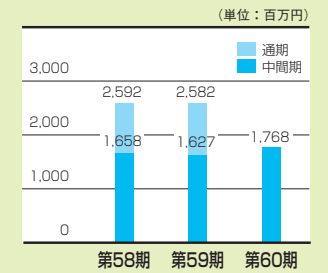
●ハンドケア（手袋）部門〈連結〉

ハンドケア（手袋）部門は『ニトリルゴム』手袋が安定的に寄与したこと等により売上高は14億44百万円（前年同期比2.6%増）となりました。



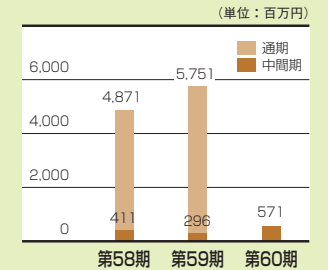
●湿気ケア（除湿剤）部門〈連結〉

湿気ケア（除湿剤）部門につきましては、『ドライペット』のシートタイプ各商品と詰め替え式除湿剤「ドライペットコンパクト」が好調に売上を伸ばしました。また、厳しい価格競争の中、利益の維持に留意した販売方針に徹することで、売上高は17億68百万円（前年同期比8.7%増）と増収を達成するとともに利益率も向上いたしました。



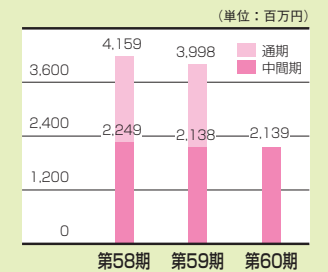
●サーモケア（カイロ）部門〈連結〉

サーモケア（カイロ）部門は、前シーズン終了後の返品抑制政策が奏効したことや秋以降のシーズンに向けた営業活動を早めにスタートしたこと等により『オンパックス』ブランド全アイテムが伸び、売上高は5億71百万円（前年同期比92.8%増）と大幅に増加いたしました。



●ホームケア（その他）部門〈連結〉

ホームケア（その他）部門の売上高は21億39百万円（前年同期比0.0%）となりました。新製品「フィニッシュタブレット」等が加わった自動食器洗い機専用洗剤『フィニッシュ』ブランドやオート用品が好調でしたが、その他の商品がやや低迷し、ホームケア全体では前年同期比ほぼ同額の微増となりました。



●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期末 (平成18年9月30日)	前中間期末 (平成17年9月30日)	前期末 (平成18年3月31日)		当中間期末 (平成18年9月30日)	前中間期末 (平成17年9月30日)	前期末 (平成18年3月31日)
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産	22,559	24,303	23,605	流動負債	8,616	8,642	7,973
現金及び預金	7,877	9,732	8,625	支払手形及び買掛金	4,838	4,774	4,773
受取手形及び売掛金	6,866	6,563	4,552	未払金	1,836	2,070	1,957
有価証券	2,566	3,412	4,778	その他	1,940	1,797	1,241
たな卸資産	4,447	3,927	4,823	固定負債	1,637	1,142	1,591
繰延税金資産	398	434	370	退職給付引当金	1,152	1,056	1,115
その他	421	259	473	役員退職慰労引当金	104	86	95
貸倒引当金	△ 18	△ 26	△ 18	再評価に係る繰延税金負債	380	—	380
固定資産	12,990	14,159	14,299	負債合計	10,253	9,784	9,564
有形固定資産	7,423	7,687	7,582	少数株主持分			
建物及び構築物	2,530	2,670	2,597	少数株主持分	—	437	480
土地	3,265	3,263	3,267	資本の部			
その他	1,627	1,754	1,717	資本金	—	7,065	7,065
無形固定資産	431	272	414	資本剰余金	—	7,067	7,067
投資その他の資産	5,135	6,199	6,302	利益剰余金	—	15,371	15,174
投資有価証券	3,538	4,391	4,761	土地再評価差額金	—	△ 100	△ 548
繰延税金資産	103	253	47	その他有価証券評価差額金	—	675	872
再評価に係る繰延税金資産	—	67	—	為替換算調整勘定	—	△ 326	△ 296
その他	1,513	1,511	1,517	自己株式	—	△ 1,512	△ 1,474
貸倒引当金	△ 19	△ 24	△ 24	資本合計	—	28,240	27,860
資産合計	35,549	38,463	37,905	負債、少数株主持分及び資本合計	—	38,463	37,905
				純資産の部			
				株主資本	24,846	—	—
				資本金	7,065	—	—
				資本剰余金	7,067	—	—
				利益剰余金	15,266	—	—
				自己株式	△ 4,553	—	—
				評価・換算差額等	△ 24	—	—
				その他有価証券評価差額金	815	—	—
				土地再評価差額金	△ 548	—	—
				為替換算調整勘定	△ 291	—	—
				新株予約権	1	—	—
				少数株主持分	472	—	—
				純資産合計	25,296	—	—
				負債及び純資産合計	35,549	—	—

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
売上高	22,399	22,494	46,134
売上原価	11,645	11,683	26,109
販売費及び一般管理費	8,258	8,411	16,891
営業利益	2,495	2,399	3,132
営業外収益	299	273	549
営業外費用	469	458	1,042
経常利益	2,324	2,213	2,640
特別利益	5	48	49
特別損失	19	761	777
税金等調整前中間(当期)純利益	2,310	1,500	1,913
法人税、住民税及び事業税	1,002	965	1,083
法人税等調整額	△ 45	△ 273	△ 134
少数株主利益又は損失(△)	36	△ 51	△ 23
中間(当期)純利益	1,317	859	987

POINT  
売上は、ハンドケア、サーモケア、湿気ケアが伸びましたが、エアケアと衣類ケアの中の一部成熟商品が縮小したこともあり、トータルでは微減収（前年同期比0.4%減）となりました。一方、利益面では、資材価格上昇圧力を購買・製造部門のコスト削減活動により吸収したこと、および広告宣伝費を中心としたプロモーション投資の効率化ときめ細かな経費圧縮に努めた結果、営業利益が前年同期比4.0%増、経常利益が同5.0%増となりました。

POINT  
中間純利益は、13億17百万円（前年同期比53.3%増）となりましたが、これは、前年中間期における固定資産の減損影響がなくなったことに加え、子会社のエステートレーディング株式会社、エステート株式会社等のグループ各社が順調に業績を伸ばしたことによるものです。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	546	927	1,954
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,387	△ 1,343	△ 2,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,385	△ 318	△ 571
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	11	16
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,447	△ 723	△ 830
現金及び現金同等物期首残高	8,802	9,632	9,632
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	7,354	8,909	8,802

●連結対象会社  
連結子会社（国内4社/海外2社） 持分法適用会社（国内1社/海外2社）  
エステートレーディング株式会社 スリーエム・エステー販売株式会社  
エステート株式会社 シャルダン（マレーシア）  
エステー・マイコール株式会社 シャルダン（フィリピン）  
エステービジネスサポート株式会社  
ファミリーグroup（タイ） ※シャルダン（マレーシア）は、清算  
ファミリーグroup（台湾） 手続中

●連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	株主資本				評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計	
		資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主 資本合計	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定				評価・換算 差額等合計
平成18年3月31日残高		7,065	7,067	15,174	△ 1,474	27,833	872	△ 548	△ 296	27	—	480	28,340
中間期中 の変動額	利益処分による利益配当	—	—	△ 317	—	△ 317	—	—	—	—	—	—	△ 317
	利益処分による役員賞与	—	—	△ 0	—	△ 0	—	—	—	—	—	—	△ 0
	中間純利益	—	—	1,317	—	1,317	—	—	—	—	—	—	1,317
	自己株式の取得	—	—	—	△ 4,027	△ 4,027	—	—	—	—	—	—	△ 4,027
	自己株式の処分	—	—	△ 20	61	40	—	—	—	—	—	—	40
	自己株式の消却	—	—	△ 886	886	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 56	—	5	△ 51	1	△ 7	△ 57	
中間期中の変動額合計	—	—	92	△ 3,079	△ 2,986	△ 56	—	5	△ 51	1	△ 7	△ 3,044	
平成18年9月30日残高		7,065	7,067	15,266	△ 4,553	24,846	815	△ 548	△ 291	△ 24	1	472	25,296

●単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期末 (平成18年9月30日)	前中間期末 (平成17年9月30日)	前期末 (平成18年3月31日)		当中間期末 (平成18年9月30日)	前中間期末 (平成17年9月30日)	前期末 (平成18年3月31日)
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産	19,641	21,940	20,920	流動負債	8,072	8,158	7,488
現金及び預金	6,407	8,482	7,182	支払手形	42	43	54
受取手形及び売掛金	6,346	6,150	4,184	買掛金	4,669	4,619	4,626
有価証券	2,509	3,405	4,682	未払金	1,802	2,017	1,924
たな卸資産	3,716	3,244	4,088	その他	1,558	1,477	883
繰延税金資産	314	339	310	固定負債	1,593	1,102	1,549
その他	358	334	483	退職給付引当金	1,108	1,016	1,072
貸倒引当金	△ 10	△ 16	△ 11	役員退職慰労引当金	104	86	95
固定資産	13,144	14,302	14,451	再評価に係る繰延税金負債	380	—	380
有形固定資産	7,004	7,256	7,152	負債合計	9,666	9,260	9,037
建物及び構築物	2,400	2,535	2,462	資本の部			
土地	3,054	3,054	3,054	資本金	—	7,065	7,065
その他	1,549	1,665	1,634	資本剰余金	—	7,067	7,067
無形固定資産	425	266	408	利益剰余金	—	13,787	13,351
投資その他の資産	5,714	6,780	6,890	土地再評価差額金	—	△ 100	△ 548
投資有価証券	3,348	4,212	4,567	その他有価証券評価差額金	—	675	872
繰延税金資産	89	239	33	自己株式	—	△ 1,512	△ 1,474
再評価に係る繰延税金資産	—	67	—	資本合計	—	26,983	26,334
その他	2,296	2,285	2,313	負債及び資本合計	—	36,243	35,372
貸倒引当金	△ 19	△ 24	△ 24	純資産の部			
資産合計	32,785	36,243	35,372	株主資本	22,850	—	—
				資本金	7,065	—	—
				資本剰余金	7,067	—	—
				利益剰余金	13,270	—	—
				自己株式	△ 4,553	—	—
				評価・換算差額等	266	—	—
				その他有価証券評価差額金	815	—	—
				土地再評価差額金	△ 548	—	—
				新株予約権	1	—	—
				純資産合計	23,119	—	—
				負債及び純資産合計	32,785	—	—

●単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
売上高	21,398	21,642	44,331
売上原価	11,714	11,822	26,230
販売費及び一般管理費	7,753	7,900	15,995
営業利益	1,931	1,919	2,105
営業外収益	376	360	671
営業外費用	397	400	954
経常利益	1,909	1,880	1,822
特別利益	6	48	52
特別損失	29	611	623
税引前中間(当期)純利益	1,886	1,317	1,252
法人税、住民税及び事業税	765	775	716
法人税等調整額	△ 22	△ 255	△ 151
中間(当期)純利益	1,143	797	687
前期繰越利益	—	2,182	2,182
自己株式処分差損	—	27	36
土地再評価差額金取崩額	—	△ 6	△ 6
中間配当額	—	—	316
中間(当期)未処分利益	—	2,946	2,510

●連結貸借対照表・単体貸借対照表

平成18年5月1日から施行された会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。  
これは、貸借対照表上、資産性をもつものを「資産の部」、負債性をもつものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債との差額として「純資産の部」に記載するものです。  
これにより、会社の支払い能力などの財政状態を、より適切に表示することが可能となりました。

POINT

中間純利益は、11億43百万円（前年同期比43.4%増）となりましたが、これは主に、前年中間期における固定資産の減損会計適用による特別損失5億48百万円が当中間期は発生しないことによるものです。

POINT

当中間期に株主還元策の一環として、250万43百株（取得価額40億26百万円）の自己株式を取得いたしました（単元未満株式の買取分を除く）。また、自己株式の消却を64万68百株（消却額8億86百万円）実施いたしました。

●単体株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	株主資本				評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計	
		資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	土地 再評価 差額金			評価・換算 差額等合計
平成18年3月31日残高		7,065	7,067	13,351	△ 1,474	26,010	872	△ 548	323	—	26,334
中間期中 の変動額	利益処分による利益配当	—	—	△ 317	—	△ 317	—	—	—	—	△ 317
	中間純利益	—	—	1,143	—	1,143	—	—	—	—	1,143
	自己株式の取得	—	—	—	△ 4,027	△ 4,027	—	—	—	—	△ 4,027
	自己株式の処分	—	—	△ 20	61	40	—	—	—	—	40
	自己株式の消却	—	—	△ 886	886	—	—	—	—	—	—
	株主資本以外の項目の 中間期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 56	—	△ 56	1	△ 54
中間期中の変動額合計	—	—	△ 80	△ 3,079	△ 3,160	△ 56	—	△ 56	1	△ 3,215	
平成18年9月30日残高		7,065	7,067	13,270	△ 4,553	22,850	815	△ 548	266	1	23,119

# トピックス

## 冷蔵庫用脱臭剤「脱臭炭」使用期間表示に関するお詫びとお知らせ

本年6月、「脱臭炭 冷蔵庫用」および「脱臭炭 冷蔵庫用大型」2製品について、公正取引委員会から使用期間表示に誤解を招く恐れがあるとの警告を受けました。このため検査を行ったところ、冷蔵庫の性能向上や機能の多様化により、一部の冷蔵庫において製品の使用期間表示と実際の使用期間とに差が生じることが判明いたしました。

当社は、この結果を踏まえ、直ちに使用期間表示の内容をよりわかりやすいものに変更しました。

本件に関しまして、お客様をはじめ、お取引先様、関係各位にご迷惑をおかけし、さらに株主の皆様には大変ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、現在、当該製品は通常通り販売しております。これからも、当社ではお客様へのより良い製品の提供を目指し、生活環境の変化に対応する適正でわかりやすい表示記載に努めてまいります。

## 文化支援事業 ～こころ洗うミュージカル赤毛のアン特別公演～

当社は、本年創業60周年を迎えるにあたり、文化支援事業として本年で9回目となった「こころ洗うミュージカル 赤毛のアン」の東京公演を、オーケストラによる特別公演といたしました。「赤毛のアン」の音楽監督を務める山口琇也氏をコンダクターとして、新宿文化センターのオーケストラピットから迫力ある生演奏をお届けいたしました。本年の華原朋美さんと坂上二郎さんの共演も、お客様から高い評価をいただきました。

今後も、この事業を通して、お客様に感動をお届けしてまいります。



公演中の華原朋美さんと坂上二郎さん

## 海外製品好調 ～海外販売向け製品ラインナップの拡充を図る～

本年3月からアメリカで3,300店舗を展開する小売店最大手ウォルマート・ストアーズで除湿剤Closet Dehumidifier（『ドライペットスキット』）および脱臭剤Closet Deodorizer（『脱臭炭』）の販売を開始いたしました。おかげさまで販売も好調に伸びております。

今後、さらなる事業拡大に向けて、製品ラインナップの拡充を図ってまいります。



アメリカで販売中の『ドライペットスキット』（左）と『脱臭炭』

## 工場における安全管理と地域コミュニケーション

当社福島工場（福島県いわき市）では、平素より、従業員間にて安全の重要性を深く認識し災害防止に不断の努力を重ねてまいりました。おかげさまでこのたび、安全操業無事故無災害の継続日数が1,000日に達しました。

また、福島・埼玉・九州の各工場では、日頃お世話になっている地域の皆様に感謝の気持ちをお届けしたいとの思いから、休日に当社製品の特売会を定期的で開催しており、多くの住民の方々にご利用いただいております。またその売上金の一部を、市の福祉協議会に寄付させていただいております。

今後とも、品質と安全と地域コミュニケーションを大切にまいります。



10月22日九州工場で開催された特売会の様子

## 空気をかえようデー ～研究員も、白衣を脱いで売場に立ちます～

『ムシューダ』など防虫剤は、4月と9月の衣替えシーズンに売れ行きの最盛期を迎えます。その時期にあわせ、当社では、普段は社内で業務を行っている内勤社員も、販売店の売場に立ち、防虫剤を中心に推奨販売を行います。全社員で店頭立つ取り組みを「空気をかえようデー」と名づけ、スタートから3年を迎えました。店頭でお客様の声に直接触れることにより、自らの業務にも違う目線で臨むきっかけになるなど、社員も大きな刺激を受ける「空気をかえよう」の取り組みです。



「空気をかえようデー」の店頭でのひとこま

## 新製品紹介

### ●ムシューダ防虫ふるしき

収納形態の多様化によるお客様の要望から生まれた「ムシューダ防虫ふるしき」。大切な衣類を「包む」「巻く」「かぶせる」など自由自在にお使いいただき、1年間大切に守ります。1枚でセーターなどを3～5着包み込みます。新しい製品の提案によって、防虫剤市場の拡大を図ります。



### ●セルフケア1週間お薬整理BOX

新しいブランド『セルフケア』が誕生。自分で自分の健康を管理・維持・向上することをサポートする製品を提案してまいります。

「セルフケア1週間お薬整理BOX」は、朝・昼・夜・寝前の薬を1週間分整理収納できます。お薬の飲み忘れ・飲み間違いを防止することができます。



## テレビCM紹介

### ●あの殿様が帰ってきた！京都太秦で本格時代劇を撮影

電子式消臭芳香器『消臭プラグ』の新CM“消臭の乱”篇。こちらは出演者に、今井朋彦さん、佳那晃子さん、森三中さんを迎え、9月上旬時代劇撮影の本場、京都太秦で撮影されました。『消臭プラグ』の強みである「小さくても部屋一面消臭」をキーワードに、お城の中で繰り広げられる殿と家臣や女性たちの騒動が描かれています。

2001年の発売以来、圧倒的なシェアを誇ってきた『消臭プラグ』を初めてフルモデルチェンジ。さらに場所をとらないコンパクト化を図り、飾りのない“シンプル&スリム”なフォルムへと進化しました。

これにより『消臭プラグ』を将来の中核商品に育成してまいります。

CMの動画はこちらから

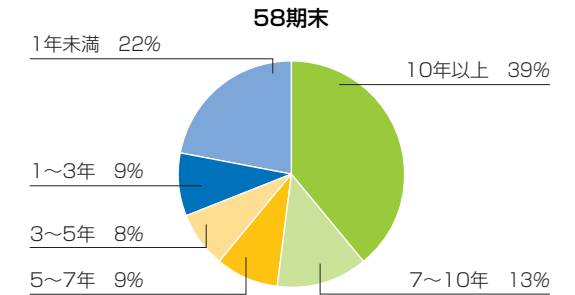
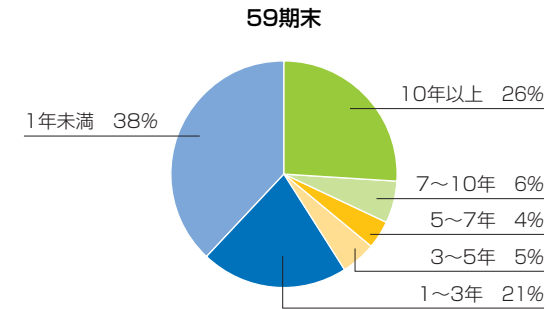
エステー宣伝部ドットコム <http://www.st-sendenbu.com/>



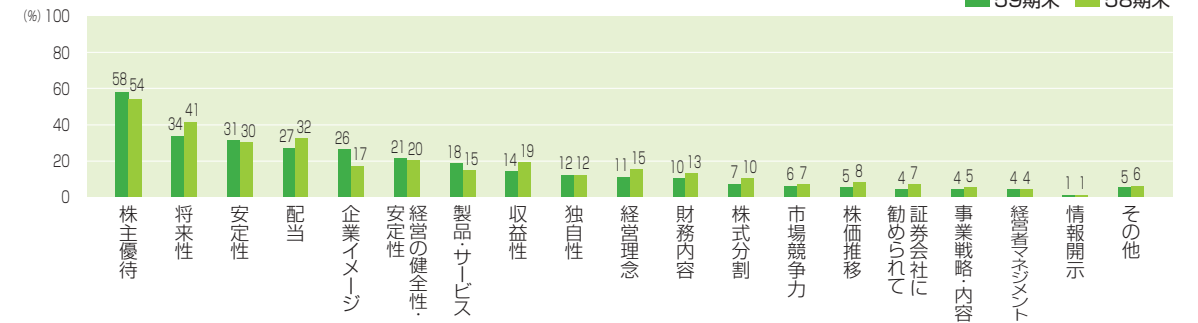
## 株主アンケート 集計結果

第59期事業報告書でお願いいたしましたアンケートには、929名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。(第58期656名よりご回答)  
下記の通り、アンケートの結果をご報告させていただきます。(構成比は小数点以下第1位を四捨五入)

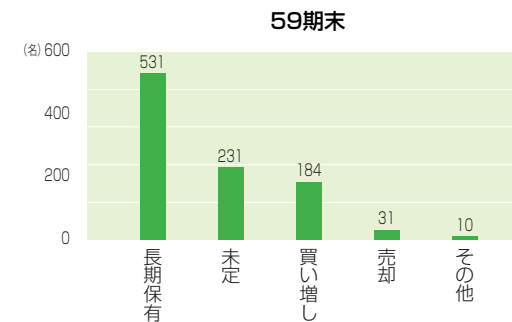
### ●当社株主歴別構成



### ●当社株式を購入された理由（複数回答）



### ●当社の株式に対する方針（複数回答）



ご協力ありがとうございました。  
今後これらの結果を参考にさせていただき、株主の皆様のご期待にお応えできるよう一層努力してまいります。

## 株式の状況

(平成18年9月30日現在)

### ●株式の総数

(ア) 発行可能株式の総数	96,817,000株
(イ) 発行済株式の総数	29,700,000株
(ウ) 1単元の株式数	100株

### ●株主数

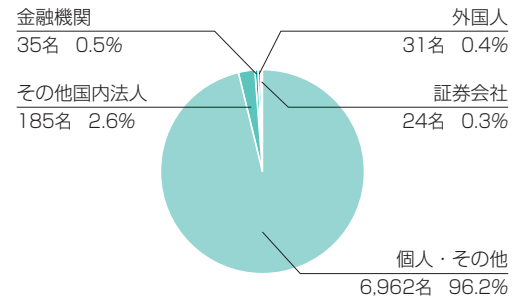
7,237名

### ●大株主

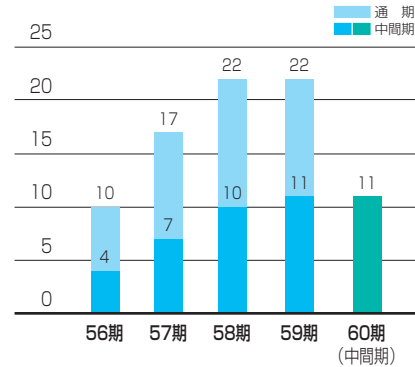
氏名又は名称	持株数	持株比率
株式会社 シャルダン	4,767千株	16.1%
株式会社 T・ZONEキャピタル	3,947	13.3
日本生命保険相互会社	1,671	5.6
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託	884	3.0
有限会社 鈴木ファミリー	840	2.8
鈴木 喬	812	2.7
株式会社 三菱東京UFJ銀行	681	2.3
ペアスターズ アンド カンパニー	607	2.0
鈴木 誠	582	2.0
鈴木 明雄	485	1.6

(注) 1. 当社は自己株式3,322千株(11.2%)を有しております。  
2. みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託を名義人とする884千株は、株式会社みずほ銀行が保有する当社株式を退職給付信託として設定した同行の信託財産であります。

### ●所有者別分布状況



### ●配当金の推移 (単位:円)



## 株主優待品

2007年3月期中間時の株主優待品は、割当基準日である9月30日時点で当社株式を1,000株以上保有いただいている株主様へ、3,000円相当の当社製品詰め合わせを送付させていただきます。なお、お届けは12月中旬を予定しております。

100株以上	1,000円相当当社製品詰め合わせ	年1回(割当基準日3月31日)
1,000株以上	3,000円相当当社製品詰め合わせ	年2回(割当基準日3月31日・9月30日)



1,000株以上株主様向け

## 会社の概要

(平成18年9月30日現在)

- 設立 昭和23年8月31日
- 資本金 7,065,500千円
- 従業員数 従業員 ※臨時従業員  
 連結 608名 129名  
 単体 362名 68名  
 ※平均人員、パートタイマー・嘱託を含む

## 事業所

(平成18年9月30日現在)

- 本社 〒161-8540  
東京都新宿区下落合1-4-10  
TEL. 03-5906-0731 (代表)
- 支店 札幌、仙台、関東(埼玉)、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
- 営業所 横浜、金沢、高松
- 工場 福島、埼玉、九州(福岡)
- R&Dセンター 東京

## 役員一覧

(平成18年11月30日現在)

取締役		
取締役会議長 (指名委員)	鈴木 喬	
取締役(社外) (指名委員・監査委員・報酬委員)	梶原 保	
取締役(社外) (指名委員・監査委員)	多賀谷 恒八	
取締役(社外) (指名委員・報酬委員)	野呂 正則	
取締役(社外) (監査委員)	高後 元彦	
取締役(社外) (監査委員)	小門 裕幸	
取締役 (指名委員)	長沢 壽治	
取締役 (報酬委員)	土橋 光男	
執行役		
代表執行役社長	鈴木 喬	
専務執行役 (経営全般担当・製造部門担当・R&D部門担当)	小林 寛三	
常務執行役 (コーポレートスタッフ部門担当・関連会社担当)	土橋 光男	
常務執行役 (営業本部長)	影浦 憲章	
執行役 (エステートレーディング㈱代表取締役社長)	石川 通愷	
執行役 (大阪支店長)	城ノ戸 真一	
執行役 (経営企画・宣伝・広報各グループ担当・国際ビジネス担当・人事担当)	嶋田 洋秀	